

28年5月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年5月1日～ 28年5月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	26/6月	26/7月
入荷動向	スギ	△ 20.0	75.0	50.0
	ヒノキ	△ 66.7	△ 33.3	△ 33.3
	カラマツ	△ 20.0	△ 50.0	△ 50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
消費動向	スギ	△ 20.0	75.0	50.0
	ヒノキ	△ 66.7	0.0	△ 33.3
	カラマツ	0.0	25.0	25.0
	トドマツ	33.3	66.7	66.7
在庫動向	スギ	20.0	0.0	0.0
	ヒノキ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	カラマツ	△ 20.0	△ 50.0	△ 50.0
	トドマツ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3

・スギ原木の入荷は5月の減少が、6月、7月は増加。ヒノキ及びカラマツは3カ月連続して減少。トドマツは3カ月連続して横ばい。

・スギ原木の消費は5月の減少が、6月、7月は増加。ヒノキは5月の減少が、6月は横ばい、7月は再び減少。カラマツは5月の横ばいが、6月、7月は増加。トドマツは3カ月連続して増加。

・スギ原木の在庫は5月の増加が、6月、7月は横ばい。ヒノキ、カラマツ及びトドマツは3カ月連続して減少。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	26/5月	26/6月	26/7月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	33.3	33.3	33.3
カラマツ	40.0	50.0	50.0
米マツ	0.0	△ 33.3	0.0
北洋カラマツ	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0
その他	-	-	-

・スギ原木は3カ月連続して横ばい。ヒノキ及びカラマツは不足感のため強含み。米マツは5月の横ばいが、6月は弱含み、7月は横ばい。北洋カラマツは弱含み。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・工場火災で入荷量は減るが、県産材を最優先で買い取りする。消費分を入荷する見通し。消費量は減少。在庫はほぼ横ばいの見通し。
- ・ヒノキ、カラマツ共に入荷不足、生産は安定。在庫はヒノキ、カラマツが減少。
- ・生産量に合わせて入荷。6月以降、稼働が増え消費も増える。在庫は横ばいをキープしたい。
- ・カラマツ以外は順調に入荷。5月は稼働日少なく、6月から増へ。

(原木価格)

- ・国産材は横ばい。米マツは山火事の影響等で夏場に向け若干の強含み。北洋カラマツは今後出材が増え、中国市況も芳しくないことから夏場に向けて若干の弱含みと予想。
- ・ヒノキ、カラマツは不足感から上昇傾向。
- ・生産が順調なだけに、価格も維持したい。
- ・カラマツ上昇（取り合い）。

28年5月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	26/6月	26/7月
生産動向	構造用(9mm)	△ 40.0	25.0	0.0
	〃 (12mm)	0.0	20.0	0.0
	〃 (15mm)	0.0	20.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 16.7	0.0	△ 20.0
	〃 (28mm)	△ 16.7	0.0	△ 20.0
出荷動向	構造用(9mm)	△ 20.0	25.0	25.0
	〃 (12mm)	16.7	20.0	20.0
	〃 (15mm)	0.0	20.0	20.0
	〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	△ 25.0	0.0
	〃 (12mm)	0.0	△ 20.0	0.0
	〃 (15mm)	0.0	△ 20.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 16.7	△ 40.0	△ 20.0
	〃 (28mm)	△ 16.7	△ 40.0	△ 20.0

・合板の生産は、9mmは4月の減少が、6月は増加し、7月は横ばい。12mm及び15mmは4月の横ばいが、6月は増加し、7月は横ばい。24mm及び28mmは5月の減少が、6月は横ばい、7月は再び減少。

・合板の出荷は、9mmは4月の減少が、6月、7月は増加。12mmは3カ月連続して増加。15mmは4月の横ばいが、6月、7月は増加。24mm及び28mmは3カ月連続して横ばい。

・合板の在庫は、9mm、12mm及び15mmは4月の横ばいが、6月は増加し、7月は再び横ばい。24mm及び28mmは3カ月連続して減少。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	26/5月	26/6月	26/7月
構造用(9mm)	0.0	25.0	25.0
〃 (12mm)	16.7	20.0	20.0
〃 (15mm)	0.0	20.0	20.0
〃 (24mm)	16.7	20.0	20.0
〃 (28mm)	16.7	20.0	20.0

・合板の出荷価格は、9mm及び15mmが5月は横ばいであるが、それ以外は総じて強含みで推移。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

- ・工場火災で24mm、28mmの生産が困難。このため24mm、28mmの在庫は減少と思われる。
- ・生産は、品目の変更や変化も少なく安定。需要環境が安定。在庫の増減は小さい。
- ・在庫量、製品の荷動きに合わせて生産。熊本地震等で予想外の仮需が発生、生産量を考慮しながらの出荷。予想外の仮需で在庫は増える状況にない。
- ・5月連休で稼働日減、6月より生産増へ。5月連休明けより引き合い多く活発に。アイテムにより欠品。

(合板価格)

- ・殆ど安定して変化なし。
- ・安定的な出荷を図りながら、今後の価格上昇に期待。
- ・今後上昇へ。